

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
力504	『摂州合邦辻』絵尽し	資料					①安永2年2月 ③早稲田大学演劇博物館千葉胤男（辻町）文庫所蔵、翻刻付載
	附録 語方の実例 摂州合邦辻 合邦内の段	演出	岡鬼太郎		義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月富田文陽堂より第2版、大正10年9月野村青雲堂より第4版発行
					岡鬼太郎花柳文芸名作選	9 義太夫秘訣	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③明治36年3月服部書店版の復刻
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録
	合邦辻 合邦内の段	注釈	蓼沼祐太郎・山沢簡＝編		義太夫難句詳解	前編	①明治37年2月 ④田沼書店
	摂州合邦辻 庵室の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲/百段語り物の訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
	堀江座見物	劇評	中村商海子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第49号	①明治39年7月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治39年5月堀江座所演
625	堀江座一寸覗き	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第59号	①明治40年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治40年9月堀江座所演
567	文楽座盆替り	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第80号	①明治42年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治42年9月御霊文楽座所演
	合邦と宗岸	芸談	二見金助・熊谷堯之助	竹本摂津大掾	義太夫の心得		①明治44年10月 ④中島辰文館・武田文永堂
	近松座見物	劇評	岡田翠雨		演芸倶楽部	第1巻 第3号	①明治45年5月 ④博文館 ③明治45年4月近松座所演
☆	御霊文楽座（大正元年10月20日）	劇評	秋の人		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正1年10月御霊文楽座所演。「朝日新聞」より転載
	文楽座と近松座（小春興行）	劇評	馬脚生		演芸倶楽部	第1巻 第9号	①大正1年12月 ④博文館 ③大正1年10月御霊文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	越路大夫の七日	劇評	鬼太郎		演芸倶楽部	第2巻 第1号	①大正2年1月 ④博文館 ③大正1年12月東京新富座（素浄瑠璃）所演
	第三種 摂州合邦辻 合邦内の段	梗概 批評	徳島県教育会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育会 ③増補改訂版が大正2年7月に刊行
☆	近松座（大正3年6月1日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正3年6月近松座所演。「毎日新聞」より転載
	近松座六月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第132号	①大正3年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正3年6月近松座所演
625	文楽座九月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第135号	①大正3年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正3年9月御霊文楽座所演
	合邦辻註釈（一）（二）	演出	月廼舎掬水		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第135・ 136号	①大正3年10・11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	文楽座の仕舞興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第161号	①大正5年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正5年11月御霊文楽座所演
	合邦辻と高安の里（芝居遺跡紀行）	史跡	浪華の旅人		新演芸	第2巻 第7号	①大正6年7月 ④玄文館
	語り方の理論 詞と地合 * 字配り研究の必要	研究	秋山木芳（清）		義太夫大鑑	下巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社 ③字配りの例
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第 二期芸能篇23 浄瑠璃 3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録
	理論の応用＝先人の遺訓 * 実際問題としての理論の応用 の困難 其の例	研究	秋山木芳（清）		義太夫大鑑	下巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社 ③『合邦』の難所
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第 二期芸能篇23 浄瑠璃 3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録
	四月の文楽座	劇評	緑々生		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第178号	①大正7年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正7年4月御霊文楽座所演
	摂州合邦辻 * 下の巻 合邦住家の段	演出	杉山其日庵（茂丸）		黒白	31号	①大正8年10月 ④黒白発行所

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
69、97、149、 164、182、ブ 14、321					浄瑠璃素人講釈		①大正15年12月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻版
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第 二期芸能篇25 浄瑠璃 5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素 人講釈』を収録
625			杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・ 桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	(下)	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載
	文楽仕舞興行を聞く	劇評	金波老		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第245号	①大正14年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正14年10月御霊文楽座所演
力22	玉手御前について	参考	濱村米蔵		演芸画報	第22年 第2号	①昭和3年2月 ④演芸画報社 ③「春狂言『役』の考察」
力22	「撰州合邦辻」の由来	研究	間民夫		歌舞伎研究	23	①昭和3年3月 ④歌舞伎出版部
力22、69、97、 149、164、182、 力238、力266	撰州合邦辻	解説 梗概	黒木勘蔵		日本名著全集 江戸文 芸之部	第7巻 浄瑠璃名 作集下	①昭和4年2月 ④日本名著全集刊行会
					近松以後		①昭和17年9月 ④大東出版社 ③大東名著選42
	文楽弥生興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第278号	①昭和4年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和4年3月弁天座所演（短評）
	文楽新聞評抜萃 四、昭和四年十二月 その第二回「河庄その他」	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和4年12月東京新橋演舞場所演（短評）
	二月の文楽座	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第288号	①昭和5年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和5年2月四ツ橋文楽座所演（短評）
	文楽座の「国性爺」	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第9輯	①昭和5年2月 ④演芸月刊社 ③昭和5年2月四ツ橋文楽座所演
	文楽物語及び文楽人形物語 文楽物語 近事篇（その三） 人形雑話外 三項 * 義太夫武勇伝	芸話	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③ (3) 竹本大隅太夫の「合邦」

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					改修文楽の研究		①昭和15年3月 ④創元社 ③創元選書40
					新編文楽の研究		①昭和22年11月改訂初版 ④創元社 ③創元選書40
					定本文楽の研究		①昭和27年5月 ④創元社 ③創元文庫
					文楽の研究		①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫
							①平成17年8月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説（今尾哲也） 付載
	文楽の義太夫	劇評	岡鬼太郎		歌舞伎と文楽		①昭和18年5月 ④三田文学出版部 ③昭和5年8月東京東京劇場所演。「東京朝日新聞」 より転載
					岡鬼太郎花柳文芸名作 選	12 歌舞 伎と文楽	①昭和55年10月 ④鳳出版
	文楽座八月評	劇評	たかきや生		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第304号	①昭和6年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年8月四ツ橋文楽座所演
	帝劇の文楽	劇評	岡鬼太郎		歌舞伎と文楽		①昭和18年5月 ④三田文学出版部 ③昭和6年9月東京帝国劇場所演。「東京朝日新聞」 より転載
					岡鬼太郎花柳文芸名作 選	12 歌舞 伎と文楽	①昭和55年10月 ④鳳出版
398	古鞠の「合邦」完成	随筆	徳田秋声		演芸画報	第25年 第10号	①昭和6年10月 ④演芸画報社 ③昭和6年9月東京帝国劇場所演
	総動員の文楽人形芝居	劇評	安部豊		演芸画報	第26年 第1号	①昭和7年1月 ④演芸画報社 ③昭和6年12月東京明治座所演（短評）
	文楽座のぞき	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第309号	①昭和7年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和7年2月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽座の三月	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第322号	①昭和8年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和8年3月四ツ橋文楽座所演（短評）
	文楽見たまゝ聞いたまゝの記	劇評	金光明川		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第329号	①昭和9年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和8年12月東京歌舞伎座所演
	七月の文楽評	劇評	金光明川		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第341号	①昭和10年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和10年7月東京明治座所演
	批評と追悼 *「逆輸入」物の悲哀	劇評	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和10年7月東京明治座所演（一言）
					新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂 ④創元社 ③創元選書84
	批評と追悼 *「若手」本位に	劇評	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和11年7月東京歌舞伎座所演（短評）
					新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂 ④創元社 ③創元選書84
					定本続文楽の研究		①昭和27年6月 ④創元社 ③創元文庫
					続文楽の研究		①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫
							①平成17年9月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説「三宅周太郎の文楽考現学」（児玉竜一）付載
	批評と追悼 *土佐太夫の引退	劇評	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和12年6月東京明治座所演（一言）
					新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂 ④創元社 ③創元選書84

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					定本続文楽の研究		①昭和27年6月 ④創元社 ③創元文庫
					続文楽の研究		①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫
							①平成17年9月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説「三宅周太郎の文楽考現学」（児玉竜一）付載
	三、彦六座時代 *辰五郎さんの玉手	芸談	鴻池幸武＝編	(1) 吉田栄三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店より再版。(3) 吉田辰五郎の玉手御前
	批評と追悼 *佳品「道成寺」	劇評	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和14年3月東京明治座所演（一言）
349	文楽座三月の合評記	合評	太宰施門・鴻池幸武・武智鐵二・森下辰之助・樋口吾笑		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第388号	①昭和15年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和15年3月四ツ橋文楽座所演
					鴻池幸武文楽批評集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	芝居の代表作（四） 「盛綱」と「合邦」	研究	太宰施門		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第389号	①昭和15年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	文楽二の替り評	劇評	志賀谷造		演芸画報	第34年 第9号	①昭和15年9月 ④演芸画報社 ③昭和15年8月東京明治座所演（短評）
	批評と追悼 *古鞆固くなる	劇評	三宅周太郎		続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和15年9月東京新橋演舞場所演（一言）
					新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂 ④創元社 ③創元選書84
	「浪花女」と文楽	随筆	三宅周太郎	(1) 吉田栄三	中央公論	第55巻 第11号	①昭和15年11月 ④中央公論新社
	研究と随筆 「浪花女」と文楽				続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂 ④創元社 ③創元選書84
					定本続文楽の研究		①昭和27年6月 ④創元社 ③創元文庫
					続文楽の研究		①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫
							①平成17年9月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説「三宅周太郎の文楽考現学」（児玉竜一）付載
	研究と随筆 人形芸談 * 足拍子の話 * 「芝居」と「人形」	芸談	三宅周太郎	(1) 吉田栄 三	続文楽の研究		①昭和16年11月 ④創元社 ③創元選書84。昭和15年8月「改造」に連載
					新編続文楽の研究		①昭和23年6月改訂 ④創元社 ③創元選書84
					定本続文楽の研究		①昭和27年6月 ④創元社 ③創元文庫
					続文楽の研究		①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫
							①平成17年9月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説「三宅周太郎の文楽考現学」（児玉竜一）付載
	新橋演舞場の文楽	劇評	安部豊		演芸画報	第36年 第1号	①昭和17年1月 ④演芸画報社 ③昭和16年11月東京新橋演舞場所演
	合邦の人形美	随筆	布芳雄				
	かくて文楽座は新展開する	劇評	六田甲二		演芸画報	第36年 第4号	①昭和17年4月 ④演芸画報社 ③昭和17年3月四ツ橋文楽座所演
498	元より娘は	研究	武智鐵二		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第408号	①昭和17年4月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
					蜀犬抄		①昭和25年4月 ④和敬書店

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	玉手御前の事など	研究	武智鐵二		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第411号	①昭和17年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③中川泰昌氏の「文楽芸術」第9号執筆論文についての反論
					蜀犬抄		①昭和25年4月 ④和敬書店
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	合邦茶話	評論	下村海南		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第412号	①昭和17年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
ブ14、321	芸談文楽鑑賞(十) 撰州合邦辻 下の巻 『合邦住家』	芸談	山口廣一	(2) 豊竹古 鞆太夫(山城 少掾)	演芸画報	第36年 第11号	①昭和17年11月 ④演芸画報社
カ22、69、97、 164、182、567	下の巻『合邦住家』				文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版。『演芸画報』 第36年第11号掲載のものに加筆収録
	血の出るやうな難行苦行記	芸談	木谷蓬吟		文楽史		①昭和18年2月 ④全国書房 ③(3) 竹本大隅太夫と(2) 豊沢団平の「合邦」の オイヤイ
					文楽今昔譚		①昭和4年12月 ④『道頓堀』編集部
			近世文芸研究叢 書刊行会=編		近世文芸研究叢書 第 二期芸能篇21 浄瑠璃 1		①平成9年8月 ④クレス出版 ③木谷蓬吟『文楽今昔譚』『浄瑠璃史』を収録
	名作浄瑠璃解説 撰州合邦辻	解説 梗概	(6) 竹本住太 夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③(6) 竹本住太夫文楽生活年表付載。「合邦住家 之段」本文と頭注付載
			(9) 竹本文字 大夫(7) 竹 本住太夫・佐 藤靄子		六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③(6) 竹本住大夫舞台年譜(佐藤靄子=編)付載
69、97、182、 625	「合邦」の小道具 (人形覚書21) 栄三の合邦	演出	斎藤清二郎=首 小道具解説・絵 大西重孝		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第420号	①昭和18年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和17年3月四ツ橋文楽座所演、(1) 吉田栄三の 合邦

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
321	栄三の舞台 摂州合邦辻 合邦住家の段一栄 三の合邦一				文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③『浄瑠璃雑誌』第420号掲載のものに人形扮装表 と浄瑠璃本文を併載
	摂州合邦辻	解説	山口廣一		文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版
力22、69、97、 164、182、567	下の巻『合邦住家』	芸談		(2) 豊竹古 鞆太夫 (山城 少掾)			③『演芸画報』第36年第11号掲載のものに加筆収録
	「摂州合邦辻」の研究	研究	園田民雄		浄瑠璃作者の研究		①昭和19年2月 ④東京堂 ③日本演劇文献集成第2。「今昔操年代記」「難波 土産」「竹豊故事」「倒冠雑誌」「外題年鑑」「浄 瑠璃譜」を収録
	人形 人形の構造 頭のいろいろ * 検非違使	芸談	(2) 桐竹紋十 郎		文楽の人形と三味線		①昭和19年10月 ④文楽研究会 ③入平の首
	第二章 決戦下の顔見世 * 文楽、昭和前期の名人芸	評論	山田庄一		上方芸能今昔がたり一 昭和の舞台覚え書き		①平成25年3月 ④岩波書店 ③昭和19年10月四ツ橋文楽座所演 (一言)
	先代紋十郎の芸	芸談		(2) 桐竹紋 十郎	幕間	別冊 文 楽号	①昭和22年7月 ④和敬書店 ③玉手御前の演出
	津太夫追善狂言	劇評	大西重孝		幕間	第3巻 第1号	①昭和23年1月 ④和敬書店 ③昭和22年12月四ツ橋文楽座所演
	鶴沢清八対談	芸談	三宅周太郎	(2) 鶴沢清 八	幕間	第3巻 第6号	①昭和23年6月 ④和敬書店 ③ (3) 竹本津太夫の「合邦」
	鶴沢清八				芸能対談		①昭和25年5月 ④創元社
69、97、149、 164	人形の演出と、その解説 『摂州合邦辻』	演出	大西重孝		文楽	第3巻 第6号	①昭和23年8月 ④誠光社
	思い出の芸人たち * わたしの耳目修行 (中)	随筆	本山荻舟		文楽	第3巻 第8号	①昭和23年10月 ④誠光社 ③ (3) 竹本大隅太夫の『摂州合邦辻』

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
498	玉手御前の頭巾	演出	大西重孝		観照	第18号	①昭和23年11月 ④観照社 ③(3)吉田文五郎(難波掾)の玉手御前、(1)桐竹紋十郎系との比較もあり
69、97、164、 182、カ266、321	4 文楽の演出 C 文五郎の型 合邦の玉手御前				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社 ③『観照』第18号掲載分を改題
	芝居の中の女性 X11 邪恋の種々相 *「合邦」の玉手御前	鑑賞	高岡宣之		歌舞伎の女性		①昭和24年1月 ④新府書房
	小人数の文楽	劇評	安部豊		演劇界	第7巻 第6号	①昭和24年6月 ④日本演劇社 ③昭和24年5月東京有楽座所演
	歌舞伎百趣 62摂州合邦辻	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店
	文楽組合派と若手歌舞伎	劇評	大木豊		幕間	第5巻 第1号	①昭和25年1月 ④和敬書店 ③昭和24年12月東京三越劇場所演
	摂州合邦辻	解説 梗概	増田七郎		増補/改訂日本文学大 辞典	第4巻	①昭和25年10月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
182、398	合邦内の段	研究	近石泰秋		新註国文学叢書浄瑠璃 名作集	上	①昭和25年12月 ④大日本雄弁会講談社
	合邦の幕切	劇評	武智鐵二		観照	第28号	①昭和26年7月 ④観照社 ③昭和26年5月四ツ橋文楽座所演
69、97、149、 164、プ14、625	「合邦」について	芸談	(8)竹本綱太 夫		幕間	第6巻 第8号	①昭和26年8月 ④幕間和敬書店
69、97、149、 164、プ14、625	玉手御前の性根	芸談	(8)竹本綱太 夫		幕間	第6巻 第9号	①昭和26年9月 ④幕間和敬書店
	文楽人形用語(二) *ハラ・ハラ六法	演出	大西重孝/三村 幸一＝撮影		舞台展望	第5号	①昭和26年11月 ④舞台すがた社 ③玉手御前のハラ六法
	3 人形の基本的な型 *ハラ・ハラ六法		大西重孝		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③大西重孝・吉永孝雄＝解説、三村幸一＝写真、文 楽座＝編
	2 人形の基本 人形の型(演技) *ハラ・ハラ六法				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽人形用語（四） * 後ぶり	演出	大西重孝／三村 幸一＝撮影		舞台展望	第7号	①昭和27年1月 ④舞台すがた社 ③玉手御前の後ぶり
	2 人形の基本 人形の型（演技） * 後ろぶり		大西重孝		文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	文楽夏の陣	劇評	井上基之助		舞台展望	第2巻 第8号	①昭和27年8月（9月号） ④舞台すがた社 ③昭和27年8月京都南座所演
	文楽一夕話 操のクドキ 附大隅さんの思ひ 出	芸談		(8) 竹本綱 太夫	幕間	第7巻 第9号	①昭和27年9月 ④幕間和敬書店 ③（4）竹本大隅太夫の合邦
	三和会とは	劇評	権藤芳一		歌舞伎評論	第5号	①昭和28年3月 ④歌舞伎評論社 ③昭和28年1月三越劇場所演（短評）
	文楽人形用語（十九） * 髪洗ひ	演出	大西重孝／三村 幸一＝撮影		舞台展望	第3巻 第6号	①昭和28年6月 ④舞台展望社 ③玉手御前の髪洗ひ
	2 人形の基本 人形の型（演技） * 髪洗い		大西重孝		文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	文楽たより 豪華「三番叟」と神品「合邦」	劇評	大西重孝		演劇界	第12巻 第2号	①昭和29年2月 ④演劇出版社 ③昭和29年1月四ツ橋文楽座所演（短評）
	与え得ぬ感動	劇評	沼艸雨		幕間	第9巻 第2号	①昭和29年2月 ④幕間和敬書店 ③昭和29年1月四ツ橋文楽座所演（短評）
	不遜な松太夫	劇評	武智鐵二		演劇評論	第2巻 第2号	①昭和29年2月 ④演劇評論社 ③昭和29年1月四ツ橋文楽座所演（短評）
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞 踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	伊達の穴うめ競べ	劇評	北岸佑吉		演劇評論	第2巻 第4号	①昭和29年4月 ④演劇評論社 ③昭和29年3月三越劇場所演（短評）
力22、69、力238	玉手御前の恋	研究	折口信夫		演劇評論	第2巻 第4号	①昭和29年4月 ④演劇評論社
					折口信夫全集	第18巻	①昭和30年7月 ④中央公論社
					季刊雑誌歌舞伎	第16号	①昭和47年1月 ④松竹株式会社演劇部

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
力238	「合邦」漫筆	参考	加賀山直三		幕間	第9巻 第5号	①昭和29年5月 ④幕間和敬書店
	魔性の芝居				歌舞伎の視角		①昭和31年10月 ④角川書店
	三越劇場と新橋演舞場 共に“文楽”一の替り	劇評	安藤鶴夫		演劇界	第12巻 第7号	①昭和29年7月 ④演劇出版社 ③昭和29年6月東京三越劇場所演
	説経節とその正本 俊徳丸	研究	和辻哲郎		日本芸術史研究 歌舞伎と操り浄瑠璃		①昭和30年3月 ④岩波書店
	山城少掾の休演と難波掾のお半	劇評	吉永孝雄		幕間	第12巻 第4号	①昭和32年4月 ④幕間和敬書店 ③昭和32年3月道頓堀文楽座所演
力266	玉手御前の成立（上）（下）	研究	堂本正樹		伝統演劇	第11・12 号	①昭和33年7月・昭和34年7月 ④伝統演劇研究会
	玉手御前の成立				古典劇との対立		①昭和34年12月 ④能楽書林
	豊竹山城少掾最後の舞台	劇評	吉永孝雄		幕間	第14巻 第2号	①昭和34年2月 ④幕間和敬書店 ③昭和34年1月道頓堀文楽座所演（短評）
	光る山城の良弁一引退披露公 演一	劇評	大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③昭和34年1月道頓堀文楽座所演（短評）
	しんとく丸考一比較芸能学	研究	青江舜二郎		芸能	第31巻 第2号	①昭和34年2月 ④芸能発行所
	2 名作の舞台 * 摂州合邦辻 2 人形浄瑠璃の趣向について * もどり	解説 写真	大西重孝・吉永 孝雄＝著／三村 幸一＝写真		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編
	豊竹山城少掾 9 団平の思い出	芸談	豊竹山城少掾		私の履歴書	第9集	①昭和34年10月 ④日本経済新聞社 ③（2）豊沢団平の「合邦」。初出＝「日本経済新聞」昭和34年2月連載
	山城少掾自伝 団平の思い出				日本の芸談	文化人10	①昭和59年2月 ④日本経済新聞社
	合邦庵室の秘儀一演劇に於ける 犠牲の儀式一	評論	堂本正樹		演劇界	第18巻 第7号	①昭和35年6月 ④演劇出版社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	撰州合邦辻	解説 梗概	林京平		演劇百科大事典	第3巻	①昭和35年10月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	撰州合邦辻	研究	近石泰秋		操浄瑠璃の研究―その 戯曲構成について―		①昭和36年3月 ④風間書房 ③「第一篇 段の研究」「第二篇 趣向の研究」 「第三篇 歴史的研究」各項に記事あり
	関西の焦点 三部制の文楽 コマと見世物	劇評	北岸佑吉		演劇界	第19巻 第8号	①昭和36年8月 ④演劇出版社 ③昭和36年7月道頓堀文楽座所演（短評）
	二つの文楽公演	劇評	堂本正樹		演劇界	第21巻 第3号	①昭和38年3月 ④演劇出版社 ③昭和38年2月東京三越劇場所演（短評）
	俊徳丸とハインリヒ―二つの劇 文学の流れ―	研究	新関良三		劇文学の比較研究		①昭和39年5月 ④東京堂
	でんでん虫五十年 * 代役物語	芸談	(8) 竹本綱大 夫		でんでん虫		①昭和39年6月 ④布井書房
	* 師匠 山城少掾のこと 芸談 綱大夫の代々 * 二代目綱大夫						③豊竹山城少掾の「合邦」
	文楽若手の登用	劇評	北岸佑吉		演劇界	第22巻 第8号	①昭和39年8月 ④演劇出版社 ③昭和39年7月朝日座所演
	「フェードル」と「撰州合邦 辻」	研究	田中敬次郎		名古屋大学教養部紀要	第9輯	①昭和40年5月 ④名古屋大学教養部
	撰州合邦辻	研究	佐藤健一郎		近世演劇の思想と伝 統―時代浄瑠璃の研 究―		①昭和41年1月 ④東京都立大学伝統文化の会 ③森山重雄＝編
	義太夫国紳士録 * 六世竹本弥大夫師一大酒豪	芸談	(8) 竹本綱大 夫		芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房 ③御簾内について
	仇討もの (二七) 敵討兩人合邦（一名研 屋咄し）の実説	考証	荒川秀俊		新・江戸の実話<実事 譚の世界>		①昭和41年10月 ④桃源社 ③桃源選書
					江戸の実話 <実事譚 の世界>	2	①昭和51年5月 ④桃源社 ③桃源社新書

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽の危機？	劇評	北岸佑吉		演劇界	第25巻 第6号	①昭和42年6月 ④演劇出版社 ③昭和42年4月朝日座所演
	女であることの悲しさ	鑑賞	吉永孝雄		文楽地方公演プログラム		①昭和44年11月 ④文楽協会 ③昭和44年12月文楽地方公演プログラムに再掲
	文楽の首シリーズ19	演出	斎藤清二郎		国立劇場文楽公演解説書	第19回	①昭和46年9月 ④国立劇場事業部
	若手盛り立てる先輩	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和46年9月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」昭和46年9月14日
	三味線抜擢のコンビ	劇評	戸部銀作		演劇界	第29巻 第10号	①昭和46年10月 ④演劇出版社 ③昭和46年9月東京国立劇場小劇場所演
	芸五夜	芸談	(8) 坂東三津 五郎・武智鐵二		芸十夜		①昭和47年10月 ④駸々堂出版 ③(2) 豊沢団平の「オイヤイ」の稽古
	文楽 その芸 その人びと 12	評論	武智鐵二		土門拳 文楽		①昭和47年12月 ④駸々堂出版 ③別冊『土門拳文楽 その背景』に収録。谷崎潤一郎の「合邦」感
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞 踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	演目解説 摂州合邦辻 合邦庵室の段	解説	武智鐵二		土門拳 文楽		①昭和47年12月 ④駸々堂出版 ③別冊『土門拳文楽 その背景』に収録
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞 踊	①昭和54年8月 ④三一書房
					土門拳全集	6文楽	①昭和60年11月 ④小学館 ③〈見所〉は省く
	「しんとく丸」と母子神信仰の世界	研究	岩崎武夫		さんせう太夫考		①昭和48年5月 ④平凡社
	津大夫・寛治の氣迫	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和48年9月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」昭和48年9月14日
	津大夫・寛治の『合邦』が旺卷	劇評	内山美樹子		演劇界	第31巻 第11号	①昭和48年10月 ④演劇出版社 ③昭和48年9月東京国立劇場小劇場所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
567					文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	七三年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七四 年版	①昭和49年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和48年9月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	一九七三年の文楽				文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	六章 恍惚の世界 世話物 摂州合邦辻	解説	吉永孝雄		カラー文楽の魅力		①昭和49年1月 ④淡交社 ③三村幸一＝写真
	せりふ・色感・ナマリ 私の「合邦」 摂州合邦辻/船 弁 慶能と文 楽	鑑賞 随筆 写真	山口廣一 内村直也		国立劇場歌舞伎公演解 説書	第64回	①昭和49年3月 ④国立劇場事業部
321	栄三の舞台 摂州合邦辻 合邦住家の段—栄 三の合邦—	研究	大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③『浄瑠璃雑誌』第420号掲載のものに人形扮装表 と浄瑠璃本文を併載。昭和17年3月四ツ橋文楽座所 演、(1)吉田栄三の合邦
	文楽の戦後史 光る山城の良弁—引退披露公 演—	劇評					③昭和34年1月道頓堀文楽座所演
	手摺 三 時代物＝通し狂言 摂州合 邦辻	解説	山田庄一		文楽 人形の美学		①昭和49年10月 ④毎日新聞社 ③森晋六・榎本由喜雄・山田庄一・佐藤鉄彌＝編集 ／林嘉吉＝写真
	摂州合邦辻	解説	大鋸時生・三村 幸一		文楽—鑑賞のために—		①昭和50年10月 ④保育社 ③カラーブックス338
	梅幸君の玉手御前 摂州合邦辻にちなんで 黒と紅 文楽の摂州合邦辻 「摂州合邦辻」の遺跡	参考 考証 参考 研究 史跡	戸板康二 新関良三 田中千禾夫 大西利夫 牧村史陽		国立劇場歌舞伎公演解 説書	第76回	①昭和50年12月 ④国立劇場事業部
	古典は消えて行く、されど—二 種類の「合邦」について	芸談	武智鐵二		月刊78	第2巻 第1号	①昭和51年1月 ④鎌倉書林
	古典は消えて行く、されど *古鞠太夫の二種類の『合邦』 について				底本・武智歌舞伎	③文楽舞 踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	関西劇信 関西の正月公演では	劇評	大鋸時生		演劇界	第35巻 第2号	①昭和52年2月 ④演劇出版社 ③昭和52年1月朝日座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	七七年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七八 年版	①昭和53年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和52年2月23日東京第一生命ホール所演（短 評）
	一九七七年の文楽				文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	文楽名作鑑賞 摂州合邦辻	解説 梗概	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入門』の改訂版
	深みある「桜丸切腹」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和53年2月東京国立劇場小劇場所演（一言）。 初出＝「読売新聞」昭和53年2月15日
	文楽の魅力	随想	木下順二		国立劇場文楽公演解説 書	第44回	①昭和53年2月 ④国立劇場事業部
					文楽の魅力		①昭和57年2月 ④第一法規出版 ③国立劇場＝監修
	天王寺西門考	研究	岩崎武夫		続さんせう太夫考 説 教浄瑠璃の世界		①昭和53年4月 ④平凡社
	菅専助小論	研究	土田範子		お茶の水女子大学人文 科学紀要	第31巻	①昭和53年4月 ④お茶の水女子大学
	寛治さんに教えられた〈文楽〉	鑑賞	大鋸時生		国立劇場文楽公演解説 書	第49回	①昭和54年5月 ④国立劇場事業部 ③（6）鶴沢寛治
	精彩放つ人形の勘十郎・狐忠信	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和54年5月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」昭和54年5月17日
	寛治追善の狂言立	劇評	内山美樹子		演劇界	第37巻 第8号	①昭和54年7月 ④演劇出版社 ③昭和54年5月東京国立劇場小劇場所演
	しんとく丸の世界（上）（下）	研究	桜井好朗		文学	第47巻 第11号 第48巻 第1号	①昭和54年11月・55年1月 ④岩波書店

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	古鞠芸談	芸談	安藤鶴夫		文楽 芸と人		①昭和55年1月 ④朝日新聞社 ③朝日選書150。(2)豊沢団平の癖。初出＝「東京新聞」(昭和19年1月1日～5月10日)
	鑑賞ガイド 合邦と質屋の作者 菅専助について	鑑賞 研究	戸部銀作 角田一郎		国立劇場文楽公演解説 書	第54回	①昭和55年9月 ④国立劇場事業部
	緊迫感盛り上げる津大夫	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和55年9月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」昭和55年9月11日
	再認識した「新薄雪」	劇評	内山美樹子		演劇界	第38巻 第11号	①昭和55年10月 ④演劇出版社 ③昭和55年9月東京国立劇場小劇場所演
					文楽 二十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	八〇年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八一 年版	①昭和56年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和55年9月東京国立劇場小劇場所演
	一九八〇年の文楽				文楽 三十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
498	演者が語る義太夫鑑賞の手引 (2) 摂州合邦辻—合邦庵室の段—	芸談		(4)竹本越 路大夫	邦楽と舞踊	第31巻 10号	①昭和55年10月 ④邦楽と舞踊出版社
ブ14、321、 567、625	摂州合邦辻	解説 梗概	吉永孝雄・則藤 了		浄瑠璃作品要説	<1>菅専助 篇	①昭和56年3月 ④国立劇場調査養成部芸能調査室
	説経節「しんとく丸」の構造	研究	生井武世		同志社国文学	第17号	①昭和56年3月 ④同志社大学国文学会
	今は昔、下寺町みちるべ	解説	林喜代弘		朝日座プログラム		①昭和57年1月 ④文楽協会
	八二年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八三 年版	①昭和58年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和57年1月朝日座所演(一言)
	一九八二年の文楽				文楽 三十世紀後期の 輝き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	摂州合邦辻の〈玉手御前〉 継母の恋	研究	古井戸秀夫		國文學 解釈と教材の 研究	第27巻 13号	①昭和57年9月 ④學燈社 ③9月臨時増刊号。特集〈古典の中の女・一〇〇 人〉
	浄るりの恋 玉手の恋				歌舞伎 問いかけの文 学		①平成8年7月 ④べりかん社 ③『國文學 解釈と教材の研究』掲載文を改題

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
567	玉手御前の場合	研究	田代慶一郎		文芸言語研究文芸篇	第7巻	①昭和57年12月 ④筑波大学文芸・言語学系
	俊徳丸説話と芸能	研究	石黒吉次郎		中世演劇の諸相		①昭和58年9月 ④桜楓社
	師匠春秋 * 師匠春秋 (三)	芸談	高木浩志	(4) 竹本越路大夫	四代竹本越路大夫		①昭和59年3月 ④淡交社 ③ (2) 豊竹古鞆太夫 (山城少掾) の合邦逸話 ③ (4) 竹本天隅太夫の「合邦」
	小松颯爽 * 好きになった人						
	語り物あれこれ * 「流しの枝」						③「合邦」の語り出し
	* 「合邦」						
	「三味線殺し」の異名	芸談	田結荘哲治	(4) 竹本津大夫	文楽三代 竹本津大夫 間書		①昭和59年4月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス35。(6) 鶴沢寛治との「合邦」
	撰州合邦辻	解説 梗概	内山美樹子		日本古典文学大辞典	第3巻	①昭和59年4月 ④岩波書店
	説経『しんとく丸論』(上) (下)	研究	肥留川嘉子		芸能史研究	87・88号	①昭和59年10月・60年1月 ④芸能史研究会
	“撰州合邦辻”私考一恋する玉手一	研究	玉垣凧和三		国学院雑誌	第85巻 第11号	①昭和59年11月 ④国学院大学出版部
	補訂・監修のことば 『撰州合邦辻』の成立をめぐる	参考 研究	利倉幸一 土田衛		国立劇場歌舞伎公演解説書	第131回	①昭和60年3月 ④国立劇場事業部
	S F作家の古典がえり 文楽の舞台から 撰州合邦辻	随筆 写真	筒井康隆				
	対談 日本文化の様相	対談	森毅・間宮芳生				
	七、因会と三和会 * 組合結成	解説	(7) 竹本住大夫・和多田勝		文楽説き語り 言うて暮しているうちに		①昭和60年4月 ④創元社 ③頭注部分に解説あり
	玉手御前の死一血の呪法一	研究	諏訪春雄		文学	第53巻 第6号	①昭和60年6月 ④岩波書店
	文楽の名作 八五、継子を救う偽りの恋 [撰州合邦辻]	解説	権藤芳一		文楽の世界		①昭和60年6月 ④講談社
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結荘哲治		国立文楽劇場文楽公演解説書	第12回	①昭和61年1月 ④国立劇場

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	『寿連理の松』の新鮮さ	劇評	富岡泰		演劇界	第44巻 第3号	①昭和61年3月 ④演劇出版社 ③昭和61年1月国立文楽劇場所演（短評）
	五つもタコのあった左手	芸談	田結荘哲治	(2) 吉田玉 五郎	文楽 人形の魅力		①昭和61年8月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス66。(2) 桐竹紋十郎の 玉手御前 ③玉手御前の代役 ③玉手御前
	代役をさせてもらった幸せ 解説篇 後ろ振り						
	第八章 太夫様式 * 四節 豊竹此太夫 * 六節 竹本染太夫	研究	蒲生郷昭		義太夫節の様式展開		①昭和61年11月 ④アカデミア・ミュージック ③井野辺潔・横道萬里雄・他=著 ③豊竹山城少掾・(4) 鶴沢清六=演奏
	楽譜《摂州合邦辻・合邦内》よ り	採譜	茂手木潔子 田中悠美子				
	説経『しんとく丸』『愛護若』 の変容	研究	西山淳子		成城大学近世ゼミナ ール会報 近世レポ ート	第5号	①昭和62年3月 ④近世文学ゼミナールOB会
	作者菅専助一伝記のこと・合作 者のこと一	研究	角田一郎		国立劇場歌舞伎公演解 説書	第144回	①昭和62年10月 ④国立劇場事業部
	対談 芸を伝える	芸談	(4) 竹本越路 大夫・岡部伊都 子				
	しんとく丸考	研究	村井亜紀		京都精華学園研究紀要	第25輯	①昭和62年11月 ④京都精華学園
	『摂州合邦辻』の成立に就いて	研究	長谷川香		愛知淑徳大学国語国文	第11号	①昭和63年1月 ④愛知淑徳大学国語国文学会
	インタビュー 文楽の小道具	芸談		和田時男	文楽	第7号	①平成1年2月 ④「文楽」編集部
	再説『八犬伝』と演劇	研究	河合眞澄		読本研究	第3輯	①平成1年6月 ④溪水社 ③広島文教女子大学研究出版委員会『読本研究』編 集部=編。「八犬伝」に取り入れられた趣向
	第三部『八犬伝』と演劇 第十五章『八犬伝』と演劇 (二) 四 『摂州合邦辻』				近世文学の交流—演劇 と小説—		①平成12年7月 ④清文堂出版
	「合邦住家」と「阿古屋琴責」 —ニッソーレコードの名盤—	解説 芸評	内山美樹子		義太夫SPレコード集 成	ニッソー 篇 I	①平成3年3月 ④日本芸術文化振興会 ③国立文楽劇場文楽資料叢書4。SPレコード復刻 CD「摂州合邦辻 合邦住家の段」（大正11年ニッ ソーレコード発売）の付属資料

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第三章 簀助の世界 * 女方の人形の型 ----- * 文楽に生きる女たち	芸談	(3) 吉田簀助		頭巾かぶって五十年		①平成3年8月 ④淡交社 ③玉手御前の「姿見」の型 ----- ③玉手御前
	文楽のかしらシリーズ12 「正宗」「釣船」 ----- わがファンタジーの玉手	演出	吉田文雀＝解説 ／飯村隆＝撮影 森毅		国立劇場文楽公演解説 書	第98回	①平成3年12月 ④国立劇場事業部
	太夫陣の新味光る	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の 輝き－劇評と文楽考－		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成3年12月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」平成3年12月9日
	近松半二劇通しとその方向 -----	劇評	内山美樹子		演劇界 ----- 文楽 二十世紀後期の 輝き－劇評と文楽考－	第50巻 第13号	①平成4年12月 ④演劇出版社 ③「読売新聞」平成3年12月9日付の劇評についての 訂正 ①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	文楽名作案内 摂州合邦辻	解説	阪口弘之		別冊太陽 日本のこ ころ	No.80 文 楽	①平成5年1月 ④平凡社 ③坂口弘之＝編
	「摂州合邦辻」随想	考証	阪口弘之		国立文楽劇場文楽公演 解説書	第49回	①平成5年1月 ④国立文楽劇場事業課
	奥行きのある「野崎村」	劇評	田結荘哲治		演劇界	第51巻 第3号	①平成5年2月 ④演劇出版社 ③平成5年1月国立文楽劇場所演
	文楽時評 「本朝廿四孝」 -----	劇評	内山美樹子		歌舞伎 研究と批評 ----- 文楽 二十世紀後期の 輝き－劇評と文楽考－	11	①平成5年6月 ④リポート ③歌舞伎学会＝編。平成5年1月国立文楽劇場所演 (短評) ①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	『新版歌祭文』の面白さ	劇評	宮辻政夫		上方芸能	115号	①平成5年8月 ④『上方芸能』編集部 ③平成5年1月国立文楽劇場所演
	不倫・面食い・肝臓～文楽は身 近なもの～	鑑賞	高木浩志		文楽地方公演プログラ ム		①平成5年2月 ④文楽協会
	合邦	鑑賞	児玉竜一		カブキ101物語		①平成5年7月 ④新書館 ③渡辺保＝編

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	義太夫の「風」 * 東風と西風	芸談	井野辺潔	豊竹咲大夫	文楽談義一語る・弾く・遣う		①平成5年8月 ④創元社 ③井野辺潔＝監修、義太夫研究会＝編著。「合邦」の段切 ③「合邦」
	「彦六系」の芸 * 彦六系と文楽系 * キメ撥と掛け声		垣内幸夫	(8) 竹沢団六 (7) 鶴沢寛治			
	嘘を真らしく * 左に移った肝臓		茂手木潔子	(3) 吉田襄助			
	第二部 Ⅱ もう一つの、女の顔―「合邦」	評論	渡辺保		昭和の名人豊竹山城少掾 魂をゆさぶる浄瑠璃		①平成5年9月 ④新潮社
	作者・他者・共同体 玉手御前	研究	水原信子		見えない世界の文学史		①平成6年3月 ④ペリかん社
	玉手御前の真実	随筆	安西篤子		国立劇場歌舞伎公演解説書	第144回	①平成6年10月 ④国立劇場事業部
	第三部 名作の鑑賞 時代物 摂州合邦辻	解説	藤田洋・森西真弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改定版、平成23年2月第3版
	文楽見どころ聞きどころ 摂州合邦辻	鑑賞	廓正子		文楽入門 鑑賞へのいざない		①平成7年6月 ④淡交社 ③淡交ムック。水落潔＝指導、青木信二＝写真
	浄瑠璃・歌舞伎『摂州合邦辻』の成立と周辺の事情―比較文学的考察―	研究	木村康男		東京国際大学論叢 人間社会学部編	創刊号	①平成7年9月 ④東京国際大学 ③創学30周年記念号
	文楽における女性―「摂州合邦辻」玉手御前をめぐる―	研究	森田美芽		神学と人文	36	①平成8年12月 ④大阪キリスト教短期大学
	わたしの中の玉手御前	随筆	白石加代子		国立文楽劇場文楽公演解説書	第65回	①平成9年1月 ④国立文楽劇場事業課
	『合邦』に綱大夫父子が力演	劇評	田結荘哲治		演劇界	第55巻 第3号	①平成9年2月 ④演劇出版社 ③平成9年1月国立文楽劇場所演
	人生の無常を描く名品、玉男の熊谷	劇評	宮辻政夫		上方芸能	127号	①平成9年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成9年1月国立文楽劇場所演
	淀川長治の文楽十選 摂州合邦辻	鑑賞	淀川長治		広告批評	No.205	①平成9年5月 ④マドラ出版 ③特集〈淀川長治と吉田玉男の文楽入門〉
	第二部 現代の文楽 Ⅳ 文楽の演出―昭和の文楽三味線― 5 彦六系の伝承	芸談	垣内幸夫	(8) 竹沢団六 (7) 鶴沢寛治	岩波講座 歌舞伎・文楽	第10巻 今日の文楽	①平成9年12月 ④岩波書店 ③「合邦」の段切れの手

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第三部 楽劇としての文楽・歌舞伎 1 楽劇としての文楽・歌舞伎 2 楽劇の完結	研究	横道万里雄				③上演方法について
	作品研究の起点	座談会	今尾哲也・内山美樹子・上村以和於・渡辺保／近藤瑞男＝司会		歌舞伎 研究と批評	21	①平成10年6月 ④歌舞伎学会 ③文楽と歌舞伎の「合邦庵室」の演出の違い
	『合邦』の鮮烈な清治の芸	劇評	福本和生		演劇界	第56巻 第11号	①平成10年10月 ④演劇出版社 ③平成10年9月東京国立劇場小劇場所演
	文楽はより文楽らしく――一九九八年下半期の文楽――	劇評	権藤芳一		歌舞伎 研究と批評	23	①平成11年6月 ④歌舞伎学会 ③平成10年9月東京国立劇場小劇場所演
	素浄瑠璃の楽しさ	演出	高木浩志		国立劇場邦楽公演解説書	第113回	①平成12年10月 ④日本芸術文化振興会 ③文楽素浄瑠璃の会
	文楽の名作ダイジェスト 撰州合邦辻	解説	阿部俊夫		NHK 日本の伝統芸能		①平成13年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門Ⅷ
	意外の収穫「又助住家」	劇評	田結荘哲治		演劇界	第59巻 第7号	①平成13年5月（6月号） ④演劇出版社 ③平成13年4月国立文楽劇場所演
	「艶」「念」「幻」三味線を弾く	劇評	片山剛		上方芸能	141号	①平成13年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成13年4月国立文楽劇場所演
	四、師匠逝去 * 婆の鉦	芸談	桐竹紋壽		文楽・女方ひとすじ おつるから政岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③鉦を叩く間
	しんとく丸の20世紀	研究	高橋広満		文学	第2巻 第6号	①平成13年11月 ④岩波書店
	文楽の名作 撰州合邦辻	解説	浦田健次郎＝監修／児玉竜一＝編著		能楽 文楽 歌舞伎 日本の伝統芸能への誘い		①平成14年8月 ④教育芸術社
	文楽歴史散歩 * 撰州合邦辻	史跡	田結荘哲治		文楽地方公演プログラム		①平成14年10月 ④文楽協会 ③平成15年3月地方公演プログラムに再掲
	文楽よもやま話 * 合邦	鑑賞	高木浩志				
453	玉男芸話17	芸談	森西真弓	(1) 吉田玉男	国立劇場上演資料集	453	①平成15年2月 ④日本芸術文化振興会

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	摂州合邦辻				吉田玉男文楽藝話		①平成19年9月 ④日本芸術文化振興会 ③国立劇場上演資料集増刊
	次代を担う花と実	劇評	中村桂子		演劇界	第61巻 第5号	①平成15年3月(4月号) ④演劇出版社 ③平成15年2月東京国立劇場小劇場所演
	これを見よ！文楽演目厳選10 摂州合邦辻 合邦庵室の段	鑑賞	七海友信		歌舞伎・文楽の見方が 面白いほどわかる本		①平成15年4月 ④中経出版
	彼女の場合の事件のきっかけ 玉手御前は大地母神の末裔	評論	天野道映		演劇界	第61巻 第9号	①平成15年7月(8月号) ④演劇出版社
	第三章 おんなの情を語るのは 苦手ですが… 『摂州合邦辻◎合邦住家の段』 通称<合邦> 大夫と名がつくほどの者はだれ でも語る、それほどの名曲です	芸談	(7) 竹本住大 夫		文楽のこころを語る		①平成15年8月 ④文藝春秋 ③七世竹本住大夫略年譜(山本千恵子=構成)付 載。平成21年1月文庫版
	劇場必携演目ダイジェスト24 摂州合邦辻	解説	松平盟子		劇場に行こう 文楽に アクセス		①平成15年10月 ④淡交社
	吉田文雀聞書 * 芸風と役柄	芸談	阿部俊夫	吉田文雀	演劇界	第62巻 第14号	①平成16年9月(10月号) ④演劇出版社 ③(3) 吉田文五郎(難波掾)の玉手への武智鐵二 の疑問に対する回答
	第二章 名作ガイド 摂州合邦辻	解説	松平盟子		豊竹咲甫大夫と文楽へ 行こう		①平成16年12月 ④旬報社 ③旬報社まんぼうシリーズ。豊竹咲甫大夫(6) 竹本織太夫=著
	『弱法師』と『摂州合邦辻』	研究	石橋健一郎		観世	第72巻 2号	①平成17年2月 ④檜書店 ③特集<弱法師>
	第二章 太夫・三味線・人形遣 い * 鶴澤寛治	芸談	亀岡典子		文楽ざんまい		①平成17年6月 ④淡交社 ③「合邦」の冒頭
	時代物・女の巻 七 摂州合邦辻	解説	高木秀樹=著/ 青木信二=写真		あらすじで読む 名作 文楽50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再構成した新版刊
	名作文楽50 摂州合邦辻				文楽手帖		①平成26年8月 ④KADOKAWA ③角川ソフィア文庫。『あらすじで読む 名作文楽 50』を加筆修正のうえ再構成したもの
	「弱法師」と「摂州合邦辻」の あいだ	評論	山折哲雄		国立文楽劇場文楽公演 解説書	第99回	①平成17年7月 ④日本芸術文化振興会

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽・知識の泉⑧	演出	高木浩志				
	白の涼、舞台の熱	劇評	亀岡典子		演劇界	第63巻 第12号	①平成17年8月（9月号） ④演劇出版社 ③平成17年7月国立文楽劇場所演
	花形名の復活を願う	劇評	片山剛		上方芸能	158号	①平成17年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成17年7月国立文楽劇場所演
	〔聞き書き〕人形浄瑠璃文楽—その上演演目 演出 首など—吉田玉男師と吉田文雀師に聞く 二、吉田文雀師に聞く *その他の上演が少ない演目について	芸談	鎌倉恵子	吉田文雀	伝統芸能の特殊な上演に関する調査研究 浄瑠璃・歌舞伎の舞台と上演		①平成18年3月 ④（独）文化財研究所東京文化財研究所芸能部 ③芸能部プロジェクト報告書 ①平成22年5月 ④森話社
498	三世竹本越路太夫宛書簡	資料			国立劇場上演資料集	498	①平成19年2月 ④日本芸術文化振興会
498	住吉松原毒酒の段	資料 写真					③本文と昭和48年9月東京国立劇場小劇場所演の記録写真
	女の恋は哀しい	劇評	津田類		演劇界	第65巻 第4号	①平成19年3月（4月号） ④演劇出版社 ③平成19年2月東京国立劇場小劇場所演
	人形の役作りとかしら割り—吉田文雀師に聞く	芸談	後藤静夫＝聞き手／児玉竜一＝編集協力	吉田文雀	國文學 解釈と教材の研究	第53巻 15号	①平成20年10月 ④學燈社 ③10月臨時増刊号。特集〈文楽—人形浄瑠璃への招待—〉
	第二部 異色対談 文楽と上方と伝統芸能 浄瑠璃浄土は清らかな場所—薬師寺長老・松久保秀胤と語る仏教と文楽—	対談	(7) 竹本住大夫	(7) 竹本住大夫・松久保秀胤	なほになほなほ 私の履歴書		①平成20年12月 ④日本経済新聞出版社 ③初出＝「日本経済新聞」朝刊（平成20年1月3日）
	フェードルと玉手御前—「情熱」と「理性」の相克を生きる	研究	西尾和子		帝京大学外国語外国文化	第2号	①平成21年3月 ④帝京大学外国語学部外国語学科
	父と子と継母の物語—『摂州合邦辻』のことば—	研究	山中玲子		文学	第12巻 第2号	①平成23年3月 ④岩波書店 ③特集〈人形浄瑠璃・文楽のことばへ〉
	第二章 尾崎保男こと 初代鶴澤藤蔵 * 藤蔵襲名と山城師匠の相三味線 【後輩の代役】	芸談	(9) 竹本源大夫・(2) 鶴沢藤蔵		文楽の家		①平成23年3月 ④雄山閣 ③田口章子＝編
	知識の泉36	演出	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説書	第127回	①平成24年7月 ④日本芸術文化振興会

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	時代物・世話物・景事物 文楽を味わう一助になれば 摂州合邦辻				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院 ③「知識の泉36」を中心に加筆
	集大成のお初	劇評	宮辻政夫		演劇界	第70巻 第10号	①平成24年10月 ④演劇出版社 ③平成24年7～8月国立文楽劇場所演
	闇に佇む光	劇評	森田美芽		上方芸能	186号	①平成24年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成24年7～8月国立文楽劇場所演
	平成二十四年上半期の文楽	劇評	内山美樹子		歌舞伎 研究と批評	50	①平成25年9月 ④歌舞伎学会 ③平成24年7～8月国立文楽劇場所演の(8)豊竹嶋 太夫評
	平成二十四年後半の関西の動 きー若手公演を中心にー	評論	荻田清		歌舞伎 研究と批評	51	①平成26年3月 ④歌舞伎学会 ③平成24年7～8月国立文楽劇場所演
	力感溢れる「合邦庵室」	劇評	富岡泰		演劇界	第71巻 第4号	①平成25年4月 ④演劇出版社 ③平成25年2月東京国立劇場小劇場所演
	第十章 住大夫三夜 第一夜 『摂州合邦辻』「合邦 住家の段」	鑑賞	高遠弘美		七世竹本住大夫 限り なき藝の道		①平成25年9月 ④講談社
	竹本住大夫インタビュー	芸談		(7) 竹本住 大夫			
	勘十郎・玉女が解説する 私が好きな演目ベスト10 摂州合邦辻 玉手御前	解説 芸談	(3) 桐竹勘十 郎		文楽へようこそ		①平成26年4月 ④小学館 ③(3) 桐竹勘十郎・吉田玉女(2) 吉田玉男) = 著
	もう少し浄瑠璃を読もう(第16 ～18回) 虚もまた実の『摂州合邦辻』	鑑賞	橋本治		芸術新潮 もう少し浄瑠璃を読もう	第66巻 第8～10号	①平成27年8・9・10月 ④新潮社 ①令和1年7月 ④新潮社
	大序 徳島と十代豊竹若太夫 *人間国宝、しかし……	芸談	(6) 豊竹呂太 夫・片山剛		文楽・六代豊竹呂太夫 五感のかなたへ		①平成29年3月 ④創元社 ③(10) 豊竹若太夫の「合邦内の段」
	文楽入門 ある古書店主と大学 生の会話⑩～摂州合邦辻～ 追善・襲名記念インタビュー	入門 芸談	久堀裕朗 坂東垂矢子=蘭 き手	豊竹咲太夫・ (6) 竹本織 太夫	国立文楽劇場文楽公演 解説書	第149回	①平成30年1月 ④日本芸術文化振興会 ③国立劇場第202回文楽公演解説書に再掲

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	織太夫、躍り出る	劇評	宮辻政夫		演劇界	第76巻 第3号	①平成30年2月（3月号） ④演劇出版社 ③平成30年1月国立文楽劇場所演
	平成三十年上半期 関西の歌舞 伎・文楽季評一椅子から転げ落 ちるほど面白い「瓢箪棚の 段」一	劇評	川浪春香		歌舞伎 研究と批評	62	①平成31年2月 ④歌舞伎学会 ③平成30年1月国立文楽劇場所演
	平成三十年上半期の文楽		田草川みずき				③平成30年1月国立文楽劇場・2月東京国立劇場小劇場 所演
	上演作品への招待 *『摂州合邦辻』	鑑賞	児玉竜一		国立劇場文楽公演解説 書	第202回	①平成30年2月 ④日本芸術文化振興会
	熱演、六代目織太夫	劇評	富岡泰		演劇界	第76巻 第5号	①平成30年4月（5月号） ④演劇出版社 ③平成30年2月東京国立劇場小劇場所演
	一 原風景一戦前の文楽 再び文楽座へ	芸談	中野順哉	(7) 鶴沢寛 治	うたかた 七代目鶴澤 寛治が見た文楽		①平成31年2月 ④関西学院大学出版会 ③彦六座系の「合邦庵室の段」
	4章 愛憎渦巻く人間ドラマ *摂州合邦辻	入門	上島カンナ＝マ ンガ／文楽協会 ＝協力		マンガでわかる文楽		①平成31年3月 ④誠文堂新光社 ③佳山泉＝執筆協力、人形浄瑠璃文楽座＝協力
	合邦 聖と汚辱の鎮魂	鑑賞	渡辺保		文楽ナビ		①令和2年9月 ④マガジンハウス